年間授業計画　新様式例

飛鳥　高等学校 令和５年度（1年次用） 教科　芸術　　科目 工芸Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：工芸Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 年次　1 組～　6 組

教科担当者：（1・2組：奥澤　葉子）　（5・6組：奥澤　葉子）

使用教科書：（ 高等学校芸術科工芸Ⅰ（日本文教出版）　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　工芸Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める。 ○意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表している。	○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値観をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	○主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身	表現 社	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及・技能】 ・記号について理解する 【思考・判断・表現】 ・日頃無意識に使用している形態を観察し、意識の溯上にあげる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察を元に記号化・単純化による美しさを感じ、平面表現する。	○　工芸と自然のかかわり (1)　自然物・人工物の観察・鑑賞 (2)　観察をもとに平面表現	○		○	【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか	○	○	○	2
	【知識及・技能】 ・家紋の伝統と文化について学習し、その機能・美しさ・多様さを理解する。 ・知的財産権を理解し、創造性を尊重する。 【思考・判断・表現】 ・自身の特徴について考えをめぐらせ、発想・構想する。 ・単純化・変形による記号化を行い、個人紋をデザインする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・個人紋の制作を行う。	○　個人紋 (1)　家紋について (2)　個人紋デザイン (3)　制作	○	○	○	【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか	○	○	○	14
	【知識及・技能】 ・平面図と立体作品について造形的に理解する。 【思考・判断・表現】 ・たたらつくりの技法について理解し制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 基本的な技法を習得し、創造的に制作する。	○素材と技法・土でつくる (1)　陶芸について概説・鑑賞 (2)　アイデアスケッチ・型紙つくり (3)　たたらつくり (4)　下絵付け・施釉 (5)　鑑賞	○		○	【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか	○	○	○	6
2学期	【知識及・技能】 ・身近な生活における装飾品としての指輪を鑑賞し、デザイン・素材について理解する。 ・技法・素材・用具・手順について理解する。 【思考・判断・表現】 ・自身の興味・関心からモチーフを考え、実用と美しさを吟味して創造的にデザインする。 ・不適切な使用によって起こりうる事故を理解し、安全に作業をおこなう。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品の質を高める作業を心得る。 ・素材の魅力が充分あらわれるまで研磨をおこなう。	○素材と技法・金属でつくる（鋳造・指輪） (1)　鑑賞 (2)　デザイン (3)　ワックスによる原型制作 (4)　雌型制作 (5)　鋳造 (6)　研磨	○	○	○	【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか	○	○	○	28
	【知識及・技能】 ・身近な生活におけるカトラリーについて鑑賞し、その用途や機能、意匠の多様さ・美しさデザイン・素材について理解する ・木の特性を知る。 ・工具や加工法を理解する。 ・第二角法の三面図を理解する	○工芸のかたち大きさと機能・木でつくるカトラリー (1)　鑑賞 (2)　図法 (3)　デザイン (4)　研磨 (5)　オイルフィニッシュ				【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】				

3学期	・第三角法の三面図を理解する。 【思考・判断・表現】 ・日常で使うものの用途を理解し、用の美について考え制作する。 ・適切な工具を使用し、安全に配慮して制作を行う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品の質を高める作業を心得る。 ・素材の魅力が充分あらわれるまで研磨をおこなう。		○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか	○	○	○	20
										合計 70

年間授業計画　新様式例

飛鳥　高等学校 令和５年度（2,3年次用） 教科 芸術　　科目 工芸Ⅱ

教　科： 芸術　　科　目： 工芸Ⅱ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 23 年次 1 組～ 6 組

教科担当者：（自由選択：奥澤　葉子）

使用教科書：（ 高等学校芸術科工芸Ⅱ（日本文教出版）　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　工芸Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に工芸の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身	表現 社	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及・技能】 ・生活の中での遊びを観察し、工芸とのかかわりを考える ・技法・素材・用具・手順について理解する 【思考・判断・表現】 ・観察をもとに自由に発想する ・スケッチや試作などから構想をまとめる ・素材の特徴を理解し、デザインする ・構想にもとづいて材料や用具を選択し制作する ・工具の使用方法を理解し、安全に配慮した制作をおこなう 【主体的に学習に取り組む態度】 ・動くおもちゃの構造を理解し、素材感や形態の面白みを考えながら作成する	○ 木工　動く木のおもちゃつくり (1)　アイデアスケッチ・デザイン (2)　図面作成 (3)　工具による制作 (4)　鑑賞	○	○	○	【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか	○	○	○	22
2学期	【知識及・技能】 ・技法・素材・用具・手順について理解する ・自身の生活空間を観察し、そこで使うことを考え発想する 【思考・判断・表現】 ・素材の特徴を理解し、スケッチや試作などからデザインする ・構想にもとづいて材料や用具を選択し制作する 【主体的に学習に取り組む態度】 ・工具の使用方法を理解し、安全に配慮した制作をおこなう ・完成度を高める作業を行う	○ 鍛金 (1)　アイデアスケッチ・デザイン (2)　鍛金制作 (3)　鑑賞	○		○	【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか	○	○	○	28
3学期	【知識及・技能】 ・陶芸の工程を理解する ・道具の使用方法について理解する ・荒練の技法を習得する 【思考・判断・表現】 ・自身および他者の生活空間を観察し、そこで使うことを考え意匠を考える。 ・ろくろによる形成を行う 【主体的に学習に取り組む態度】 ・創造的な形態を意識する ・素焼き後、効果的な絵付けおよび施釉を施す	○ 陶芸 (1)　アイデアスケッチ・デザイン (2)　ろくろによる製作 (3)　下絵付け・施釉 (4)　鑑賞	○	○	○	【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか	○	○	○	20
										合計 70

年間授業計画　新様式例

飛鳥　高等学校 令和５年度（2年次用） 教科　日本の伝統文化　科目 陶芸

教　科：　日本の伝統文化　　科　目：　陶芸　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 年次　1 組～　6 組

教科担当者：（自由選択：奥澤　葉子）　（自由選択：渡部　光一　）

使用教科書：（　　）

教科　日本の伝統文化　　の目標：

【知識及び技能】日本の伝統文化に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】日本の伝統文化のよさや美しさを理解して深く味わい、表現し伝達することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり日本の伝統文化を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　陶芸　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○日本の伝統文化である陶芸の技法について理解を深め、制作することができる。 ○意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表している。	○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、陶芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値観をもって陶芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	○主体的に日本の伝統文化・陶芸の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身	表現 社	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識・技能】 ・日本の伝統文化としての陶芸の概要を理解する。 ・陶芸の学習内容のイメージを持ち、陶芸と日常生活の関わりについて考える。	○焼き物について (1) 土について (2) 焼き物の工程について (3) 道具の扱いについて (4) 鑑賞			○	【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか	○		○	2
	【知識及・技能】 ・荒練・菊練の技法を習得する。 ・陶芸の工程を理解する。 ・道具の使用方法について理解する。 【思考・判断・表現】 ・自身および他者の生活空間を観察し、そこで使うことを考え発想する。 ・食器や器などの焼き物を制作を通して、陶芸の技術と知識を習得し、技術性や生産性を主とするデザインを学習する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・手びねり・ひも作り・たたら作りを習得し、制作を行う。 ・素焼き後、効果的な絵付けおよび施釉を施す。	○　手びねりによる制作 (1) 土の練り方（荒練・菊練） (2) 玉造による湯のみ作り (3) ひも作りによるマグカップ作り (4) たたら作りによる平皿作り (5) 絵付け・施釉 (6) 鑑賞	○	○	○	【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか	○	○	○	20
2学期	【知識及・技能】 ・菊練・電動ろくろの技法について理解する。 【思考・判断・表現】 ・自身および他者の生活空間を観察し、そこで使うことを考え発想する。 ・食器や器などの焼き物を制作を通して、陶芸の技術と知識を習得し、技術性や生産性を主とするデザインを学習する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ろくろ作りの技法を習得し、制作を行う。 ・素焼き後、効果的な絵付けおよび施釉を施す。	○ろくろによる制作 (1) ろくろの使用方法と用具について (2) ろくろによる湯のみ・茶碗・皿・マグカップ作り (3) 絵付け・施釉 (4) 鑑賞	○	○	○	【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか	○	○	○	28
	【知識及・技能】 ・菊練・電動ろくろの技法について理解する。 ・実用的及び造形的な蓋の役割、美しさについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自身および他者の生活空間を観	○蓋物つくり (1) 蓋物の作り方について (2) 蓋物作り (3) 絵付け・施釉 (4) 鑑賞				【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか				

3学期	察し、そこで使うことを考え発想する。 ・食器や器などの焼き物を制作を通して、陶芸の技術と知識を習得し、技術性や生産性を主とするデザインを学習する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ろくろ作りの技法を習得し、制作を行う。 ・素焼き後、効果的な絵付けおよび施釉を施す。		○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか	○	○	○	20
										合計 70